第4章：農業

4.6 農薬管理

131929-60-7 / 168316-95-8

農薬管理 4.6.1- 4.6.4

この章は、農薬の**許可された使用と安全な取り扱い**に焦点を当てた要件を取り上げます。

4.6 農薬管理

番号	基本要件	団体認証			個別認証
		小規模農場	大規模農場	団体責任者	小規模/大規模
4.6.1	以下に該当する農薬を使用しない。 • レインフォレスト・アライアンス禁止農薬リストまたは廃止農薬リストに記載されている。 • 適用法により禁止されている。 • その農場がある国で合法的に登録されていない。 生産者は、密封されたオリジナルのパッケージに入った状態で正規販売者から購入した農薬のみを使用する。 家畜やペットに使用する化学物質の場合、それらの化学物質は、この基準の対象範囲には含まれない。 団体責任者が購買業務を担当する場合、団体責任者に適用される。 参考資料：「A-07-SCRL-B-FA 付属文書 農業」	✓	✓	✓	✓
4.6.2	リスク軽減リストに記載されている農薬を使用する生産者は、付属文書第4章 「農業」に記載されたすべての関連措置を実施しなければならない。例外的な使用に関する方針に基づいて農薬を使用する生産者は、この方針に記載されている個々のすべての慣行に従い、また付属文書に定められている例外の申請および報告の手順に従わなければならない。 参考資料：「A-07-SCRL-B-FA 付属文書 農業」 参考資料：「A-12-SCRL-B-FA 例外的な使用に関する方針：レインフォレスト・アライアンスの禁止農薬の使用に関して認められた例外とその条件」	✓	✓		✓
4.6.3	農薬取扱者は、準備方法と使用方法について毎年研修を受ける。製品ラベルまたは製品安全データシート（MSDS）で指定されている防護用具（PPE）を使用する。そのような情報がない場合には、リスクに応じた基本的な防護服を着用するものとする。PPEは良好な状態に保つ必要があり、使用後は安全に洗浄および保管し、労働者の住居には持ち込まない。使い捨てのものは、1回の使用後に廃棄する。 PPEは労働者に無料で提供され、農場責任者または団体責任者は、PPEの使用を記録、監視、徹底するものとする。	✓	✓	✓	✓

次のページに進む前に、要件とその適用性を確認しましょう。

4.6.1

禁止されている農薬

以下に該当する農薬を使用しない。

- レインフォレスト・アライアンス禁止農薬リストまたは廃止農薬リストに記載されている。
- 適用法により禁止されている。
- 生産国で法的に登録されていない

参照：付属文書 農業

4.6.1

レインフォレスト・アライアンスのリスト

個別認証農場の
マネージャーであるアミナを通して、レインフォレスト・アライアンスの**禁止農薬リスト**と**廃止農薬リスト**を確認する手順を簡単に見てみましょう。

農薬を使用する前に、禁止されているかどうかを確認する必要があります。

- ✓ 両方のリストを確認します。
- ✓ 有効成分を探します。
- ✓ 有効成分は
  混乱を招くことがあるので、
  CAS番号も確認する必要があります。

No.	PROHIBITED PESTICIDES Active ingredient or group	CAS number
1	Abamectin	71751-41-2
2	Acetochlor	34256-82-1
3	Acrolein	107-02-8

参照：付属文書 農業

4.6.1

国の法律

レインフォレスト・アライアンスの文書に加えて、アミナは次のことも確認する必要があります。

- その農薬は彼女の国で**法律で禁止されていない**。
- その農薬は彼女の国で**法的に登録されている**。
  - 特定の作物のために登録する必要はありませんが、使用のために登録されている必要があります。

アミナが認証を選択することを決定した瞬間から、彼女はこれらの農薬のカテゴリを使用しないことを確認する必要があります。

参照：付属文書 農業

4.6.1

認可された販売者と、元の密封されたパッケージ

彼女が農薬を購入する際、
アミナは**認可された販売者**からのみ購入し、
元の密封されたパッケージであるべきです。

オリジナルではない他のボトルに再包装された化学物質を購入してはいけません。彼女はその内容を決して確信できず、元のラベルがないと、製品に関する重要な情報を欠いています。

参照：付属文書 農業

4.6.2

例外的使用方針（EUP）

レインフォレスト・アライアンスは、時には特定の禁止農薬の代替手段がなく、それらを段階的に廃止するには時間がかかることを理解しております。

そのような場合、これらの物質を使用するための例外が認められることがあります。

これらの例外は**特定の国、特定の作物、特定の害虫または病気**に適用されます。

方針で例外が認められると、その特定の組み合わせを持つすべての生産者は、限られた期間その物質を使用できます。

これらの物質を使用する生産者は、方針に記載された**条件とリスク軽減措置**に従い、レインフォレスト・アライアンス基準の**統合的病害虫管理（IPM）**および農薬管理要件を遵守しなければなりません。

レインフォレスト・アライアンスは、承認された例外を6か月ごとに見直し、公開します。

4.6.2

例外的使用方針（EUP）

生産者は、方針に掲載されている物質の使用を1月1日から12月31日までの期間について、次の年の最初の2か月間に報告する必要があります。年間農薬使用報告書

例外的使用の申請は、次のフォームを使用して提出する必要があります。

農薬の例外的使用の申請

例外的使用方針と手続きついては、以下eコースを視聴することで、詳細を知ることができます。

https://learn.ra.org/course/view.php?id=4478

付属書：農業と例外的使用に関する方針にも詳細情報が記載されています。

参照：付属文書 農業
例外的使用に関する方針：レインフォレスト・アライアンス禁止農薬の使用に関して認められた例外とその条件

ケーススタディ

アミナは、彼女の畑でコーヒーノミキクイムシの害虫を制御するためにロースバンを使用することを検討しています。

ロースバンは彼女の国で登録されており、コーヒーへの適用がその国で合法的に許可されています。

彼女はレインフォレスト・アライアンス
禁止農薬リストを確認しましたが、リストには
ロースバンがありませんでした。

38	Chlormephos
39	Chlorophacinone
40	Chlorothalonil
41	Chlorotoluron
42	Chlorpyrifos
43	Chlorpyrifos-methyl
44	Clothianidin
45	Coumaphos
46	Coumatetralyl

?

彼女は要件4.6.1に従って、畑にロースバンを使用できますか？

次のページに進む前に答えについて考えてください。

ケーススタディ - 回答

答えは「いいえ」です。彼女が禁止農薬リストを確認する際には、ブランド名ではなく、製品の有効成分を確認する必要があります。

ロースバンの有効成分はクロルピリホスで、クロルピリホスは禁止農薬リストに載っています。したがって, この製品は彼女の 農場で使用できません。 アミナは例外があるかどうか確認するために例外的使用方針も見ましたが、彼女の作物であるコーヒーには例外はありませんでした。したがって、彼女はクロルピリホスを使用できません。

38	Chlormephos
39	Chlorophacinone
40	Chlorothalonil
41	Chlorotoluron
42	Chlorpyrifos
43	Chlorpyrifos-methyl
44	Clothianidin
45	Coumaphos
46	Coumatetralyl

Chlorpyrifos* **For banana** Only allowed to be used for impregnated plastics. **For pineapple** Application with closed cabin tractor is the only permitted application method. Use is permitted before flowering only.	2921-88-2	Chronic toxicity	Mealybugs *(Pseudococcus sp., Ferrisia sp., Dysmicoccus sp.)*, Aphids *(Pentalonia sp.)*, Scarring beetle *(Colaspis sp.)*	Banana	Colombia Costa Rica Ecuador Guatemala Honduras Philippines	December 31, 2026
			Symphylan *(Scutigerella immaculata)*	Pineapple	Costa Rica Ecuador Ivory Coast	December 31, 2026

4.6.2

リスク軽減農薬リスト

リスク軽減リストは、異なるリスクカテゴリーに基づいて作成されています。

- より高いレベルの個人防護が必要
- 水生生物へのリスク
- 陸生野生生物へのリスク
- 花粉媒介者へのリスク
- 居合わせた人のリスク（農薬を扱わないが、吸入によって農薬にさらされる人々）

リスク軽減リストに載っている農薬は、それぞれのリスク軽減措置が実施され、IPM戦略の文脈内でのみ使用できます。

リストは、どの農薬がどのタイプのリスクを持っているかを示しています。各リスクカテゴリーには、実施すべきリスク軽減措置があります。

4.6.2

重要な急性または慢性のリスク

アミナが、**重要な急性**または**慢性のリスク**が農薬取扱者に対して生じるリスクのある農薬を使用する場合、ラベルに保護具の詳細が記載されていない時は、**より高いレベルの保護具**が必要です。

- ✓ 長袖シャツの上につなぎ
- ✓ 長ズボン
- ✓ 靴下と頑丈な靴
- ✓ 化学薬品に耐性のある手袋
- ✓ 目の保護
- ✓ 呼吸器保護

4.6.2

水生または陸生野生生物のリスク

アミナが水生リスクまたは**陸生野生生物に対するリスク**を持つ化学物質を使用する場合、スプレードリフト（散布時の飛散）やその他の経路による汚染を避けるためのメカニズムを確立する必要があります。

そのようなメカニズムには、非散布区域や非作物の植生バリアの設置が含まれます。非散布区域と植生バリアの詳細は、モジュールの後半で**4.6.6**の要件に基づいて説明されます。

4.6.2

授粉媒介者リスク

アミナが受粉者にリスクをもたらす可能性のある化学物質を使用する場合、これらのリスク軽減策に従う必要があります。

- より毒性の低い農薬が利用できない場合のみ、その化学物質を使用
い。
- **非散布区域**または植生の**バリア**を設置してください。
- 花が咲いている雑草への散布を避けてください。
- 作物の開花最盛期中の散布を避けてください（バナナ、カカオ、ブドウ、レモングラス、パイナップル、オオバコ、サトウキビ、茶を除く）。

居合わせた人のために

- 立入制限期間（REI）を施行してください。
- リスクを示すためにすべての散布場所に旗を立ててくだ
- 農薬取扱者は、呼吸用保護具を使用しなければなりません。

有機蒸気（OV）カートリッジまたはN、R、P、または100シリーズフィルターを備えたキャニスターを使用する必要があります。

4.6.3

農薬取扱者は毎年訓練を受ける

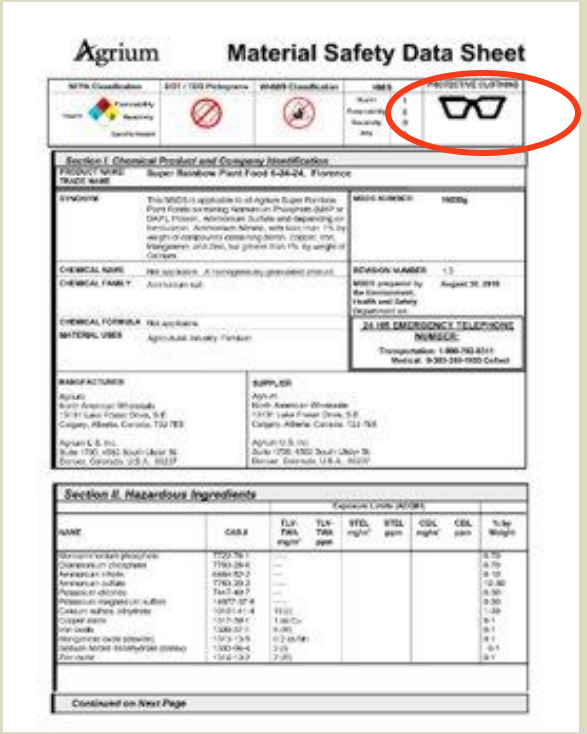
農薬を取扱者は、安全かつ効果的に農薬を準備し、適用する方法を十分に理解していることが重要です。

彼らは少なくとも年に一度訓練を受ける必要があります。

4.6.3

防護用具（PPE）

農薬を取り扱う人は、製品のラベルまたは**製品安全データシート(MSDS)**に記載された防護用具を使用する必要があります。



防護用具は製品ラベルの下部に示されています。

4.6.3

防護用具（PPE）

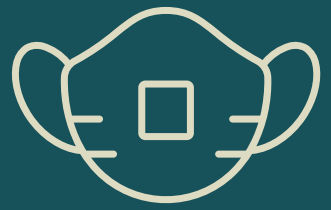
溶液を準備する際に使用する防護用具。

溶液を適用する際に使用する防護用具。

ラベルにもMSDSにも保護用具に関する情報が含まれていない場合は、基本的な保護服を着用し、潜在的なリスクに応じて追加のアイテムを着用し、適切な技術者の推奨に従うべきです。

4.6.3

防護用具（PPE）



- **製品のラベルまたは製品安全データシート(MSDS)**に記載されている通りに。
- **良好な状態**で。
- 使用後すぐに**洗浄され、安全に保管され**、作業者の住居に持ち込まれない。
- 使い捨て防護用具は、一度だけ使用するべきです。
- 防護用具は、**無料で**作業者に提供されるべきです。
- 防護用具の使用を**記録、監視、強制する**システムが必要です。

ケーススタディ

アミナの農場で作業者が農薬を適用している様子が写真に見られます。

彼が適用している製品は、適用中に次のPPEを必要とします。

この作業者は要件に準拠していますか？

次のページに進む前に答えについて考えてください。

ケーススタディ - 回答

答えは「いいえ」です。

ラベルには適用中に手袋が必要とされていますが、この作業者は手袋を着用していません。

作業者は呼吸器を着用しているように見えますが、よく見ると彼の呼吸器は口をかろうじて覆っているだけで、鼻は覆っていません。ラベルには顔全体を覆う必要があると記載されていますが、彼の目と鼻は露出しています。

彼の足をよく見ると、化学物質を吸収する普通のウォーキングシューズを履いています。彼はブーツを履いていません。したがって、彼はラベルに必要と記載されている防護用具を一切着用していません。

番号	基本要件	団体認証			個別認証
		小規模農場	大規模農場	団体責任者	小規模/大規模
4.6.4	農薬取扱者は、使用後に入浴、着替え、洗濯を行わなければならない。 責任者は、個室、水、石鹸、そして可能であれば入浴（水浴び）設備を農薬取扱者に提供することが望ましい。	✓	✓	✓	✓

次のページに進む前に、要件とその適用性を読みましょう。

4.6.4

入浴と着替え

アミナは、農薬を扱う人々が使用後に**入浴**、**着替え**、および**衣服の洗濯を**確実に行うことを担保する必要があります。

管理者は**プライバシー**、**水**、**石鹸**、そして可能であれば**入浴施設**を提供する必要があります。

洗濯された防護用具は農場に留まるべきです。

RAINFOREST ALLIANCE

rainforest-alliance.org